

7月は豪雨に猛暑、異常なコースの台風と、今まで経験したことのないような異常気象や災害が相次ぎました。日本ばかりでなく、世界中で異常気象が相次ぐこの頃。どうか、地球がいつまでも美しく、人々が安心して暮らせる星であり続けてくれますように、と思ってしまう。



とはいえ、子ども達にとってはかけがえのない夏休み！いろいろな経験をさせてあげたいですね。

## マイコプラズマ肺炎

7月下旬からマイコプラズマ感染のお子さんが増えてきました。初めは熱が出ているだけのこともあります。次第に咳がひどくなってきます。以前は4-5日熱が続き、咳がひどくなるとレントゲン写真を撮り、血液検査をしてマイコプラズマらしいか否かを判断していることが多かったのですが、最近は、発症2-3日でも診察中に乾いた咳が止まらない子を見ると、のどの奥を綿棒でこすってまず迅速検査を行うことが増えてきました。高熱が続いている子や日数が経過している場合は、レントゲン検査や血液検査も併せて行っています。

ただし、この迅速検査は感度が悪く、レントゲンで肺炎ばっちり、症状や血液検査からマイコプラズマで間違いないだろうと思う時でも、迅速検査が陰性のこともあり、過信はできません。

マイコプラズマ肺炎の場合、マクロライド系とよばれる飲み薬の抗生剤をまず投与しています。今流行中のマイコプラズマでは、大部分のお子さんは抗生剤によく反応し、症状が軽快しています。熱が下がってからも激しい咳が続くことが多いので、ある程度咳がおさまるまでは外出しないようにしてください。

マイコプラズマは発育が遅い菌なので、インフルエンザみたいに1-3日で次々と感染発症することは少なく、兄弟姉妹でかかるような場合、一人が1-2週間してやっと治ったと思う頃に次の子がかかることが多いようです。7月末、某小学校のお子さんが集中して来院しており、夏休み中とはいえ、油断せず、普段元気な子なのに熱が続き、だんだん咳がひどくなってきた場合には受診してください。

## RSウイルス感染症

秋に流行することが多いRSウイルス感染症ですが、最近は夏場から流行することも多く、今年は7月から例年以上に患者さんが増えていきます。

2歳までにほとんどの児が一度はRSウイルスに感染するといわれており、風邪程度の症状から入院が必要な細気管支炎・肺炎まで症状は様々です。一般

的に乳児期早期（生後間もなく～数か月）にかかるとう重症化しやすく要注意です。

咳やくしゃみによる飛沫感染や、感染している人との直接の濃厚接触、ウイルスが付いた食器やおもちゃ等を介した間接的接触により感染します。ですから、どうしても集団生活をしている保育園児に広まりやすい傾向があります。

乳幼児がRSウイルスに感染すると、数日の潜伏期間を経て発熱・鼻汁などの症状が出始め、次第に咳がひどく、ゼーゼーと苦しそうな呼吸になってきます。哺乳力が低下し、呼吸困難が強くなった場合には入院することもあります。

特効薬はなく、吸入や鼻汁吸引をしたり、去痰剤などの対症療法を行っています。

## 感染症流行状況

突然高熱が出ているお子さんが多く、一部はヘルパンギーナやアデノウイルスなども。今年はまだ手足口病は少ないようです。7月後半になって、前述のようにRSウイルスやマイコプラズマ肺炎の子が増えました。

| 感染症          | 人数（人） |
|--------------|-------|
| 溶連菌          | 11    |
| アデノウイルス      | 15    |
| RSウイルス       | 8     |
| ロタウイルス       | 0     |
| マイコプラズマ      | 5     |
| インフルエンザA     | 0     |
| インフルエンザB     | 0     |
| ヒトメタニューモウイルス | 0     |

(2018. 7. 2~7. 28)

## 今月の一冊

### 「ノラネコぐんだん アイスのくに」

作：工藤ノリコ

ワンワンちゃんのアイスクリームパーラーをのぞいているノラネコぐんだん。アイスが食べたくてたまらないネコたちは、空っぽの入れ物の中に入り、たどり着いた工場は「アイスのくに」。ぺろっと食べて帰ろうとしたその時…。ずる賢く食いしん坊なノラネコぐんだんの姿が面白い絵本です。(T.K.)



\*先月・今月と患者さんやご家族からのおすすめ絵本を紹介させていただきました。皆様からの情報、お待ちしております！

## 今月の予定

8月13日(月)～18日(土) 夏季休診

23日(木) 守谷市3歳5ヵ月児健診